

昭和四十五年十一月五〜七日

智仁親王と桂宮本 展示目録

宮内庁書陵部

- | | | | | | | |
|---|----------------------|-----------------------|------------------|-------------|---|------|
| 一 | 智仁親王御記 | 慶長四―七 | 御筆 | 四冊 | 墨 | 一七三 |
| 二 | 智仁親王日記 | 慶長八、九 | 御筆 | 二卷 | 桂 | 一〇〇〇 |
| 三 | 智仁親王詠十首和歌 | 慶長四・九
細川幽齋批点 | 原本 | 一卷 | 桂 | 一〇〇 |
| 四 | 賦何路連歌 | 慶長二・八・二一
(賦物連歌のうち) | 智仁親王等詠
原本 | 一綴 | 墨 | 三〇 |
| 五 | 長尙愚記 | 八条宮御先代之事 | 尾崎長尙自筆 | 一冊 | 桂 | 二三七 |
| 六 | 源氏読曲清濁 | | 智仁親王御筆 | 一卷 | 桂 | 一〇三 |
| 七 | 桂宮書籍目錄 | 元和六・三・二〇 | 智仁親王御筆 | 一綴 | 墨 | 三 |
| 八 | 古今伝受資料 | 智仁親王伝受
慶長五―寛永四 | 原本 | 一一二点
のうち | 墨 | 四〇 |
| 1 | 徳川家康 前田玄以書状並智仁親王返札状案 | 慶長五・二 | 各原本 | 五通 | | |
| | 折紙・堅文 | | | | | |
| 2 | 智仁親王御誓状案文 | 慶長五・
三・一九 | 堅文
御筆 | 一通 | | |
| 3 | 古今集幽齋講釈日数 | 慶長五・
三―四 | 折紙
御筆 | 二通 | | |
| 4 | 古今和歌集聞書 | 慶長七
幽齋加証 | 細川幽齋講釈
智仁親王聞書 | 三冊 | | |
| 5 | 当流切紙 | 智仁親王伝受 | 堅文 | 一包 | | |

切紙十八通 (三箇大事以下)

三条西実枝筆原本

切紙六通 (題号以下)

三条西実枝筆原本

6 細川幽齋古今伝受証明状

慶長五・七・二九
八条宮宛

豎文

細川幽齋自筆原本

一通

7 古今伝受之目錄

慶長七

折紙

智仁親王御筆
細川幽齋筆

一〇通

8 源氏物語相伝切紙並証明状

慶長一
五・八

豎文 幽齋筆原本

一通

別 1 後撰和歌集

貞応元年本
智仁親王相伝

東常縁写
(一条家証本)

一冊

三三

三

2 拾遺和歌集

天福元年本
智仁親王相伝

東常縁写
(一条家証本)

一冊

三三

三

九 歌書目錄 合綴 歌書物語目錄

寛永一六年写

一冊

F四

三

一〇 元良親王集

江戸初期写

一冊

三二

三

二 紫式部集

江戸初期写

一冊

三二

六

三 後鳥羽院御集

智仁親王御筆

一冊

三二

七

(本奥書)

本云以小宰相局本家隆卿貞集書寫之增書之「已上御本與書也」(卷中)
 應長元年十一月書寫之(卷末)

三 隆祐朝臣集

江戸初期写

一册 三三 一九

一四 雪玉集 中本系

三条西実隆詠

智仁親王御筆

四册 三三 一四

一五 古今和歌六帖

智仁親王御筆等

六册 三〇 一四

一六 歌仙集 西本願寺本系

智仁親王御筆等

一〇册 三二 二

一七 六家集(拾遺愚草 拾玉集欠)

智仁親王御筆等

1 山家集 西行詠

三册 三二 一

2 秋篠月清集 藤原良経詠

二册 三二 三

3 玉吟集 藤原家隆詠

三册 三二 六

4 長秋詠藻 藤原俊成詠

一册 三二 七

(本奥書)

此長秋詠藻今度加書写校合畢、雖有「夢菴老人之六家抄、以本集為所望之」間、
 如斯、殊於此草者雖令所持之、可為「具之故、新調之者也」

慶長三年孟冬初三二 丹山隱士支旨

(校合奥書) 慶長十九林鐘七一校了

一八 智仁親王御年曆 慶長元一十和六
(裏)慶長一八假名曆

御筆 一卷

桂 二〇六

一九 智仁親王御遺書 寛永六・四・三

御筆 一卷

桂 二三四

二〇 桂光院輓詩並序 寛永六

釈崇伝自筆

一卷 桂 二七三

三一 桂宮御判物御朱印文書類 天正一六一
明治一四

原本 二九通のうち

桂 三三

1 秀吉公朱印状 慶長三・八・七
知行方目錄之事

一通

2 秀忠公判物 元和三・九・一一
目錄

一通

三三 有馬湯治日記 正保三
慶安二・三 智忠親王記

御筆 三冊 墨 一七

三三 智忠親王詠草

御筆 一卷 桂 一四七

三四 文仁親王御記 元禄一〇
宝永二

御筆 四冊 F 二四

三五 家仁親王御記 享保六一
宝曆一三

御筆等 九冊 F 二四

三六 家仁親王御日次記 享保四

御筆 四冊 三三 一六

三七 桂宮日記 元禄元
明治一九

原本 四〇五冊 墨 一

六 入木道相伝条々聞書

智仁親王御筆

一卷

桂二三七

元 書法伝受書類

家仁親王御筆等

二綴
一通

F四 六

1 自一乘院宮入木道御伝受之記(家仁親王)

2 能書方伝受目録(家仁親王)

3 伝受目録(公仁親王)

三 万葉集

(卷一、二、一四欠)
附目録(後西天皇宸筆)

江戸初期写

一七冊

三三 二

各冊裏表紙見返しに「明曆」御手沢印

三 古今和歌集 貞応本系

享祿二年写
三条西実隆

一冊

三三 七

(奥書)

此集依西室公願所望、不日終書写了、「数年不意寄宿之間、和漢抄物等若干」部借彼手成功、頗為吾家之珍、且為酬「其功、身勛老骨染惡筆可謂獲麟之」墨蹟、莫外見、莫他出矣」

享祿二年歲次己丑四月十五日

頽齡七十五歳 桑門堯空

兵部侍郎藤孝者、入孫子場左武遊「素鶴衢右文、依之授与基俊一流之仁正嫡、令究淵源、故就予彼求此集之刻」楮、不堪書生送居諸訖、「茲被得祖父」禪府所書与伯

父公順僧正之一本、誠如開「沙得金、末世之曇花何者如之、況墨痕」不似古人、只如視今、尤此道之至宝也、」深可被秘之而已

天正第六小春晦日

嫡孫重三品実枝

三 大鏡

江戸初期写

三冊

三三 一四

三 春夢草

江戸初期写

三冊

三三 七〇

(本奥書)

右三冊令但阿逐書写校合畢

幽齋文旨判

三 恋路ゆかしき大将

零本 卷五

室町末期写 大聖寺こかん

一冊

桂 八三

三 かせに紅葉

合綴 春日山

室町末期写

一冊

三三 七三

三 下草

宗祇詠

室町末期写

一冊

三三 二〇

三 知連抄

合綴 梵灯庵十五番連誦合

一二条良基著

宝徳四年写

一冊

三三 三三

(本奥書)

抑此御抄者、去応安第七二条大閤依当三関白殿御所望、抽和哥肝要被遣之、^{進敷}周阿「九州下向之時、最初計御草案時分申下」令所持云々、但上落之後被召返、於御前被燒失了、其後無外見、秘事正本也、重宝之、「雖然聖護院竹園御数寄之間、嘉慶元年」十一月名匠風躰、此御抄二通被猷処也、「当道之奥儀口伝不可過之、可秘々々」大閤御判

本云

于時永享拾年林鐘十六、以慈尊院本「書写者也、筆者親

宝徳第參南呂上旬之比書写之」了、不可有外見、比與々々

(合綴本奥書)

本云 宝徳三年南呂六日書写畢

(書写奥書)

時宝徳第四孟夏下旬之比、「令書写者也、追而又可令」書改者也、比與々々、穴賢々々、勿令外見

大概加校合者也

三 藤氏系図

五撰家 (裏)二十五三昧講式

室町期写 (江戸初期書繼)

一卷 桂 二六二

三 八条宮系図並関係文書 天地

智忠親王御筆等

二卷 桂 一六三

(天) 八条宮系図 正親町院—智忠親王

(地) 藤江右京大夫書状 七・二八 阿野大納言宛

四 後花園天皇綸旨

原本 一卷 桂 二四三

1 能登国一青庄宛行事 文安三・一〇・一五 伊予局宛

2 家領文書等讓与事 享徳元・一二・二七 中御門宮繼宛

四 今川了俊制詞 一名今川壁書

智仁親王御筆 一卷 桂 一三七

四 一条冬良消息 明応・永正等

自筆 一卷 桂 一〇四

三 実隆公消息 長享元・九・二六他
(勾当内侍宛) (五通)

自筆 一卷 桂二天

四 伊達政宗書状 (九通)

原本 一卷 桂三器

五 八条宮諸家書翰集 (一九通)
島津光久・酒井忠勝等

原本 二卷 桂三臺

特別展示

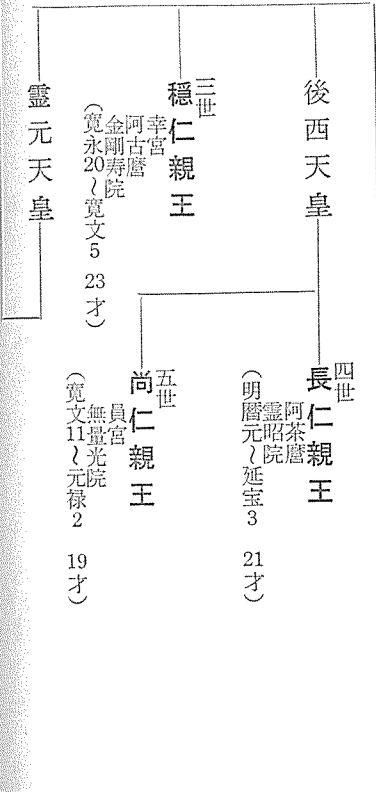
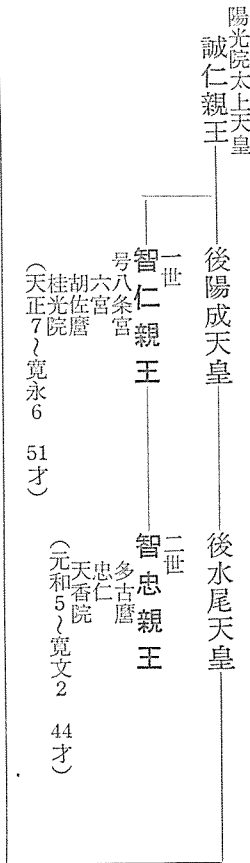
桂光院御画像 (智仁親王)

一幅 御物

天香院御画像 (智忠親王)

一幅 御物

桂宮家略系図



靈昭院
(明曆元)延宝3 21才

三世
穩仁親王

幸宮
阿古磨
金剛寿院
(寛永20)寛文5 23才

五世
尚仁親王

員宮
無量光院
(寛文11)元禄2 19才

靈元天皇

東山天皇

直仁親王

典仁親王

六世

文仁親王

号京極宮
富貴宮 茶々磨
智慧觀院
(延宝8)正徳元 32才

七世
家仁親王

茶々磨
後桂光院
(元禄16)明和4 65才

八世
公仁親王

胡佐磨
清淨觀院
(享保18)明和7 38才

作宮

元禄二年尚仁親王跡相統
号常磐井宮
正宮
淨功德院

(元禄2)元禄5 4才

光格天皇

仁孝天皇

十一世
淑子内親王

敏宮
(文政12)明治14 53才

九世
盛仁親王

号桂宮
磐宮
成正寛院
(文化7)文化8 2才

十世
節仁親王

幹宮
如意宝院
(天保4)天保7 4才



